

自主財源を確保し
競争力をつける

議長 11月定例会市議会の一般質問で、企業誘致・立地の効果で税収が約2億円増加すると答弁されていました。

市長 固定資産税が2億円程度増える見込みです。今後、国から交付される普通交付税が減っていくと予測されるなか、自主財源を確保していることが、これからの自治体にとって重要なことだと思っています。

議長 いかにして税収を上げ、自主財源を確保するかが重要な課題ですが、やはり人や企業が集まらないと税収は伸びません。

市長 人口が減ると新しく何かを築くといった政策を打ち出すことができなくなってしまう、福祉的政策だけになってしまいます。市内で商いが成立するといった人口規模が必要だと考えています。

議長 日本創成会議・人口減少問題検討分科会の推計に

「チーム議会」をモットーに
スピード感をもって決断する

剣持 堅吾 議長

よる「消滅可能性」自治体に総社市は入ってなかったものの、人口が都市部に集まらなければなりません。

市長 そうですね。そのためには競争力をつけなければなりません。交付税が減ってくるという厳しい国策の荒波のなかでもうろたえることのないよう、自主財源をもち、競争力をつけ、自立していくことが、ゆるぎない市の発展に必要なことだと思っています。

議長 昨年からは始まった一括交付金制度ですが、この制度は地域が自立していく制度だと思えます。

市民と支えあい
自立する総社市へ

議長 昨年からは始まった一括交付金制度ですが、この制度は地域が自立していく制度だと思えます。

しました。地域でそれぞれ特色ある使い方をしているようです。

議長 新制度が受け入れやすい体制だった地区からスタートしているように感じますが、まだスタートしていません。平成27年度には市内の全地区が一括交付金制度を活用できると聞いています。

議長 地域では限られた交付金を工夫し、大切に使っていると思います。一括交付金制度が定着すると市役所の仕事が減り、職員を減らせると言っていました。

市長 平成27年4月採用の職員数を予定より2人減らしました。こうしてこつこつ人件費を減らしていき、地域への交付金を増やしていければと思っています。

計画素案をじっくり見ながら慎重に検討していこうと思っています。

市長 やはりこの議論には慎重が必要。LRTが良いのか悪いのかを議論すべきが「聞いていない」といった声が出てくるなど、議論の進め方が悪いということにならないようにしないとイケません。

議長 市民によく分かるよう、きめ細やかに伝えることが大切でしょう。

市長 事務的なプロセスに批判が出ないよう注意を払ってやっていきます。周知を徹底し、幅広い意見を聞きながら大きく動かしていくと考えています。

議長 やるかやらないかの結論を出す年となりますか。

市長 「いつまで議論しているのか」ということになってはいけません。結論を見出す力をもたなければなりません。20年、30年後に総社市の形を残す重要な判断。これは政治家としての大仕事です。議長も私も決して素通りできません。



合併10周年に決断する

議長 今年には合併10周年の年になります。昨年、山手公民館で行われたガラス張り公開市長室で、山手・清音両支所の機能を見直し、出張所にしてはどうかと意見が出されました。山手・清音の住民は、いずれはと覚悟していたと思えますが、この意見を受けて市長が決断し、4月からは出張所になります。

市長 決して多くはない職員の配置を考える上で、大変ありがたく、意義深い提案だったと感じています。他からも反対されなかったのは、当事者となる市民からの提案を尊重すればこそだと思っています。出張所でのサービスを低下させないようにやっていきます。

議長 合併10周年を区切りに、総社市に一層一体感が生まれる年になればと期待しています。

市長 本場の意味での合併の時代に突入すると感じています。英語特区による英語教育や定住促進助成などで、昭和地域の再生にも積極的に取り組んでいきたいと思っています。

議長 英語特区でのイマージョン教育（一般教科の一部を英語で行うなど英語に浸る教育）は国からの評価も高いようですね。

市長 文部科学省の国際教育課長も視察に来られ、高く評価されました。平成27年度の英語特区への入園、入学予定者も前年度を上回る見込みです。多くの子どもが英語での実践的なコミュニケーション能力を身に付

過去と決別し、
新しい総社市をつくる決心をする

片岡 聡一 市長

けるとともに、昭和地域の活性化につながればと期待しています。

議長 市長と議員。立ち位置は違えど総社を発展させたと思う気持ちと同じ。「チーム議会」をモットーに、意見の違いを議論しながらもまとまり、判断すべきことをスピード感をもって決断していくことが議会の役割だと考えています。

市長 合併10周年の節目。第2次総社市総合計画の策定も迫っています。議会で議論を交わしながら、総社市のセカンドステージへつなぐビジョンをどう描くかを決める大事な年です。新たな夢をもつとともに過去と決別し、新しい総社市をつくる決心をしています。今日はありがとうございました。